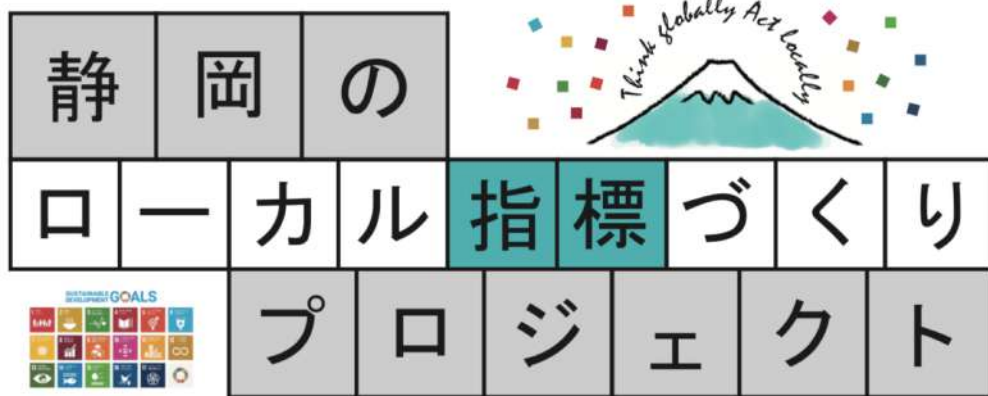


静岡のローカル指標



PJ期間：2020年10月10日～2021年2月20日
ワークショップ：全10回、のべ112名参加

しずおかSDGsネットワーク
木下 聡

プロジェクトの背景

静岡市は2018年SDGs未来都市に



認知度向上の施策を積極的に展開



SDGsの認知度は向上してきた



実際の市民の理解は？行動は？

プロジェクトの目的

行動の10年を機に
市民一人一人の具体的な行動を促す
市民によるSDGsの推進

そのために

- ・ SDGsが目指す社会像を、地域の身近なテーマや言葉で捉え直す
- ・ 取り組み状況や成果の進捗を指標によって可視化する

プロジェクト連携体制

ゲスト
スピーカー

参加者



しずおかSDGs
ネットワーク
(ローカルSDGsネットワーク)

静岡市番町
市民活動センター
(静岡県ボランティア協会)

(一社)
SDGs市民社会
ネットワーク

(一財)
CSOネットワーク
長谷川氏

(公財)
静岡県労働者
福祉基金協会

手順の検討

- ・ 国連の75周年キャンペーンの問いをヒントにし、目指すべき未来像を出発点としてその道のりを探る

1.



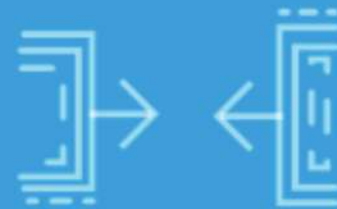
私たちはどのような未来
をつくりたいのか。

2.



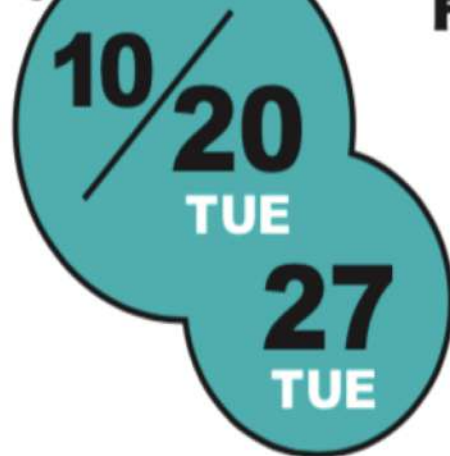
それを実現できる目途は
立っているか。

3.



そのギャップを埋めるた
めには、どのような行動
が必要か。

Step 1



ステップ1 ワークショップ（全2回） 参加無料

「静岡の未来図を描こう」

日時：10月20日（火）・27日（火）19:00～21:00

場所：番町市民活動センター 大会議室 静岡市葵区一番町50

定員：20名程度（原則として両日ご参加をお願いします。）

私たちはどんな静岡の未来をつくりたいのか、を出発点としてそれぞれの意見を出し合います。そこから、ワークを通して様々なキーワードを抽出し、それらをグルーピングしたり、相互の関係性を検討したりして整理・集約することで未来図に仕上げていきます。最終的には概ね5つの主題にまとめ、それらを Step2 で掘り下げるテーマとします。

ステップ2 ワークショップ（連続5回） 参加無料

「静岡の未来を考えるテーマ別深掘りワークショップ」

日時：11月12日（木）・19日（木）・26日（木）・12月3日（木）・10日（木）19:00～21:00

場所：番町市民活動センター 大会議室 静岡市葵区一番町50 定員：各回30名程度

Step 2



テーマ①

「水でつながる
山川海と
私たちの暮らし」



テーマ②

「地域の特性を
活かした
自然と人の共生」



テーマ③

「地産地消で
推進する
循環型経済」



テーマ④

「人がつながるまち、
つながりが作るまち」



テーマ⑤

「誰もが生きやすい、
優しい社会」







笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

若者が
希望を
感じるよ

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

笑顔の笑顔
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

ごんちが
のびのびある
笑顔の笑顔

オクスにラジシ
文化を大切に
笑顔の笑顔

昔い自然資源
健康な笑顔
笑顔の笑顔

とびやうな
笑顔の笑顔
笑顔の笑顔

STEP1-1

きれいな水が
流れ続ける
静岡

喜び
自分の幸

美しく温かく
息のできる
静岡

のんびり 小きれい 美
絵 いろをつくる

豊かな自然資源
オクシズ シズマエ
を活かして
健康な笑顔
あふれる静岡

笑顔は心の健康
豊かな食文化
既存の資源の魅力を再確認

あたたかい人たちが
歴史と文化(経験)
のまちで、快適に
生活することができ

防災面 温暖 交通網
安全・安心 静岡(人)の快適性

若者が
希望を
もてるまち

貧困 静岡への 希望のまち

災害時に
安心・安全な
しずおか

10人の意識 ボランティアへの参加
災害に対する 10人の意識
インクルージョン

我が子を
住ませたい町

自然環境 格差 多文化共生
教育・ソフトバンク 人権

人にやさしい街
(思いやりのあふれる街)

静岡人の良さをさらに伸ばす
自分の生活主体をいかにする

地球にやさしいエネルギーが
使われる静岡!!
STOP 気候危機!!!
CO2 ない 小規模発電

電 気

子どもたちが
「ここにいたい」と思える
しずおか

環境づくり 自然と共生
自然と共生 流

オクシズにうろしの
文化圏をつくりたい。
圏
流を育て人を育て地域を育てる

切欠りを通じた循環型社会(地域)
地場産品 うろし

深呼吸ができる
空間(素材)に
あふれた静岡

地球の循環 和食 リサイクル

茶の香が
あふれるまち
茶町

茶の香が循環 大七にLIFE 資源再活用

とげとげしていない
静岡の良さ
大切にできるよな

人と人のふれあい 無関心 子どもたちに伝えない

こどもたちが
のびのびあそべる
しずおか

のびのび 自由 安全 大人もたのしい

STEP1-1

静岡特有の
魅力

将来世代へ
向けて

自然
山川海

暖

温

人

心の健康

安心
ソフト

安全
ハード

の良さ
のんびり

つながり

生活圏

見守り

防災

交通網

保全

活用

環境対策

素材/食材

社会参加

自然保護

気候危機

地産地消

循環型

<コミュニティ>

<まち>

格差

男女

多文化共生

教育

障害者

CO2

電力

貧困

インクルーシブ

<環境>

<経済>

<平等な社会>

STEP2

水でつながる山川海と私たちの暮らし

地域の特性を活かした自然と人の共生

地産地消で推進する循環型経済

人がつながるまち、つながりが作るまち

誰もが生きやすい、優しい社会



主旨の共有

木山 地球持続性との目標 (Sustainable Development Goals)

経営理念

「みんなが安心できる場所であるために 丁子屋が丁子屋としてあり続ける」

丁子屋

柴山 広行 R (長子屋 平吉)

アノ解説

循環型経済

Circular Economy

持続可能な発展にしたい

人と自然の循環

自然資源の循環

資源の循環

物の巡り

自然農家 → 通達 → 焼酎 → 堆肥作り → 資金 → 堆肥 → 自然農家

人の巡り合い

最近の人の輪

上無しの人が集まるまで

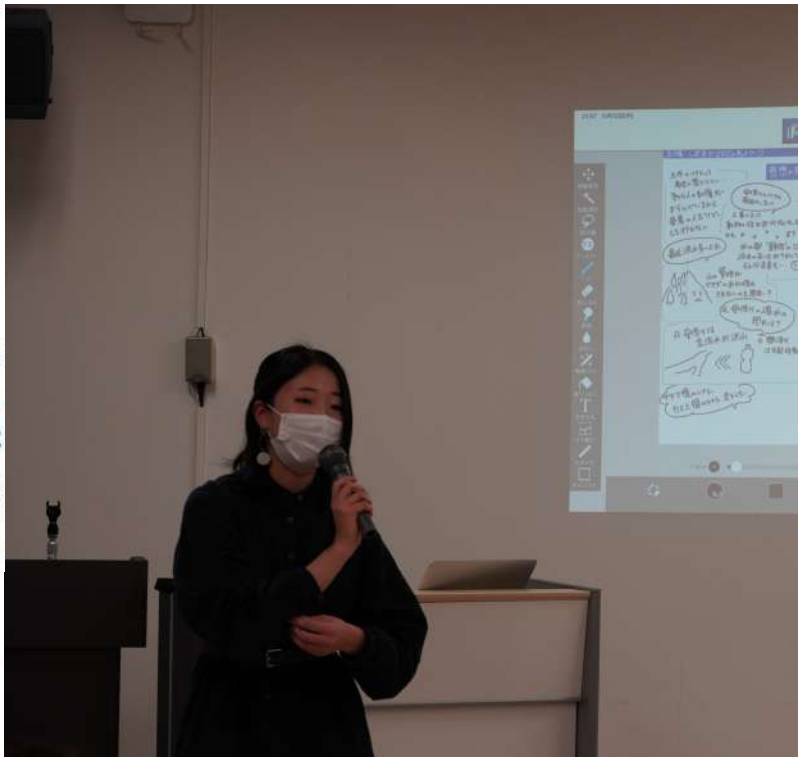
家族

丸活生上会

東海道MAP

丸活生上会

外に出たからその縁の丁子屋はたが



グラフィックレコーダー
 増田彩香さん
 マツプロ・エスキャリ
 静大4年生

Q 種苗法の改正で大きな変化にはどう対応しますか?

A. 我々農家とどうしようかと話した段階

Q セミと合うお酒は?

A. 皆で探しましょう

Q 途中でお茶の味が落ちるの?

A. 保存性とトコ顔できるのの違い

みんなの宣言

地場産品を消費

顔の見える人地元のミソを探し

対話

身近な人を応援

丸を知り

1日5回

ものを大切に長く使う

みんなの宣言

みんなの宣言

大きな変化があった時、守ってきたものが Sustainable にはなくなった...

振り返れば、未来が見え、良い方向に向かっている。

建築分野での循環は少し難しい

文化や理念など、カタチのないものを大切に守っている。と思ふ

Q. この時代に合ふ仕事は必要だと感じた。今後の展望を知りたい

A. 「生きた文化」を残そうと思ふ

みんなの宣言

みんなの宣言

みんなの宣言

Q 丁子屋の地味の人にならざるを得ないのか?

A. ストーンと地味の人と開けた。冷凍とでも開けた。季節管理が難しい

色んな特徴を持つながら皆の風景

Q 自然者と山羊のちがいは?

ヤマモト 自然者 ヤマモト ヤマモト

Q 7月の山はどんな感じ?

A. 道臭ではないかと書かれている。

NEXT

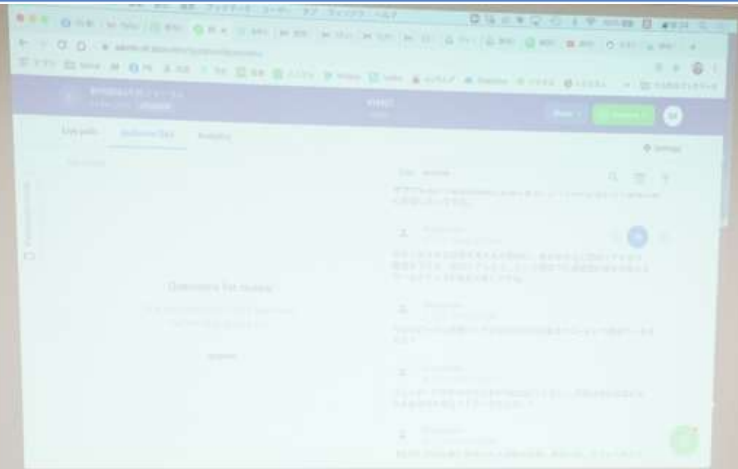
草薙和子

山本

2020.12.9(木) 19:00



静岡SDGs市民フォーラム



木下 聡

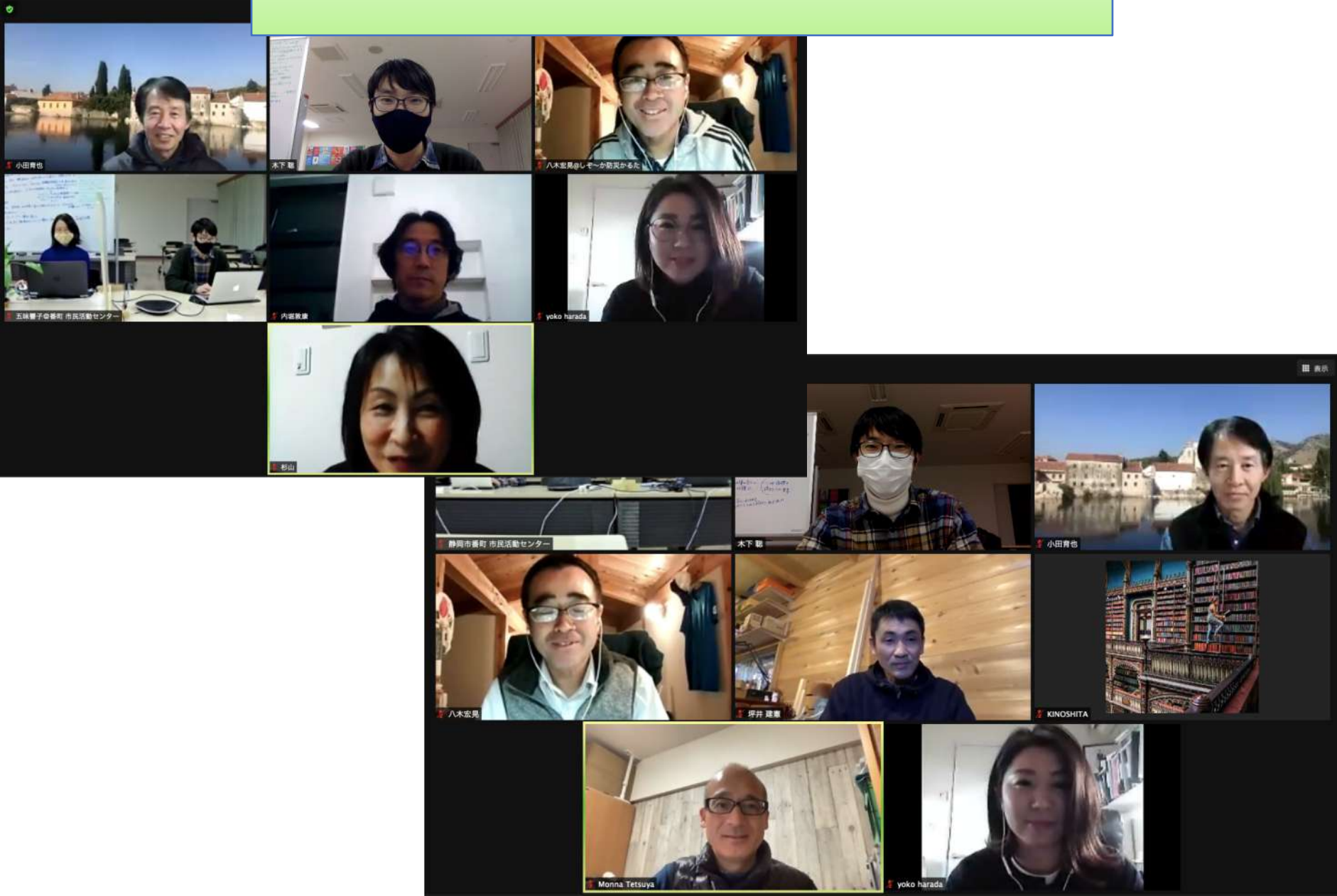
稲場 雅紀氏

稲葉 博隆氏

稲葉 博隆氏



STEP 3



2030年に目指す静岡像

「まあるいしずおか」

しずおかの人の温かさと自然が持つ魅力を守り、
育てるサイクルができることで、
災害に強く、それぞれの個性が生きる、持続発
展性のある社会

目指す社会 1

つながりの輪が
育っていく社会

目指す社会 2

水を巡る環境を
守り育てる社会

もっと知ることから始めよう

つながりの輪を大切にする社会

- **身近な人とのつながりを大切に**
 - 「ありがとう」を伝える
 - 周りの人にちゃんと挨拶しよう
- **つながる場をつくり輪を広げよう**
 - つながる場、居場所が増える
 - それらの場に関わる人が増える

STEP1-2 コミュニティ



STEP2-3

家の中を

笑顔でいっぱいにする。
(地域が笑顔でおくれるから)

- ・ 家族(親世代)
~~と~~ 毎日お礼
5日は多く「ありがとう」
を言う。
- ・ 捨てる前に他の資源
に^{なる}よいか
考えてみる。

顔の見える人たちと

自分の^{暮らす}地域の

魅力さがし

笑顔であいさつをして
みんなが仲良く楽しい
町内会にする!!

まずは

人とのつながり

地元とのふれあひ

STEP2-4

顔のわかる人を増やす

地域住民向けのイベントに

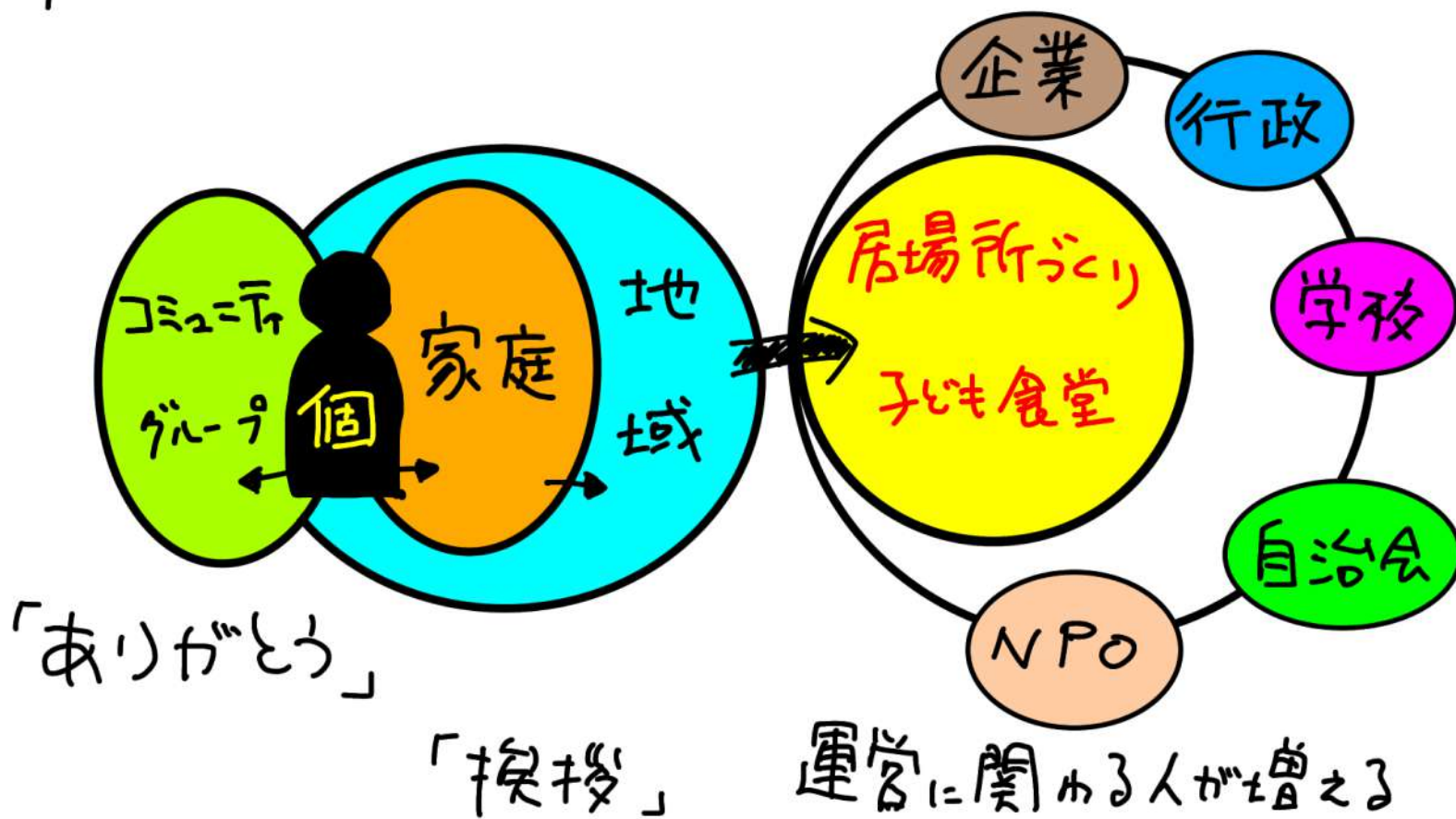
参加してみる(目的は笑顔)

コミュニティの場を

作る、行動力していく。

つながりの輪を育てていく社会

輪を つくる → 広げる



指標の検討

社会変化を捉えるための統計データ

- ・ 静岡市市民意識調査（令和2年度）

Q1 静岡市は災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまちだと思いますか。

『そう思う』 59.8% 『そう思わない』 32.1%

- ・ 静岡市子ども・若者実態調査（平成30年）

困ったときは誰に相談しますか？

相談相手がいない 小学生 17.9% (←5年前9.2%)

指標の検討

行動を促すための統計データ

- ・身近な人に「ありがとう」を言おう
→ #つけた投稿を集計して可視化
- ・つながりの場が増える、関係者が増える
→ 子ども食堂ネットワークの広がり
→ NPOや企業、地域の取り組みを調査収集
→ Googleフォーム等で情報収集

水を巡る環境を守り育てる社会

- ・山から海までの水の循環を意識し
水を汚さない暮らしを心がけよう
 - 生活排水を意識したアクション
 - 脱プラ生活に向けたアクション
- ・水に関わる環境を大切にしよう
 - 清掃活動が活発になる
- ・気候危機への対策に取り組もう
 - 再生可能エネルギーへの切替

STEP1-1

きれいな水が
流れ続ける
静岡

静岡
いし

大井川水系の水に汚染
(リニア問題)

他人事ではない

自分事

じゅんかん

あらゆる物に結びつく

ト化の水に同様の処理場
雨水タンク

排水を考える!
洗剤を変える!
ザイ.
※合成洗剤をやめる
多量に使用する洗剤の活用
雨水や残り湯の再利用

きれいな静岡の水
を悪化させない!!
(生活雑排水に注意ね)

STEP2-1

静岡のおいしい(水)を
飲む(井戸を
ほってみる)
ペットボトルウォーターは
買わないように
しよう!!

安倍川伏流水の(美味)
利水におわる
宣伝、ついでに歴史ロマン
駿府城築城秘話
ミネラルウォーター 減
(ペットボトル)
...2-10-のテストで測定...

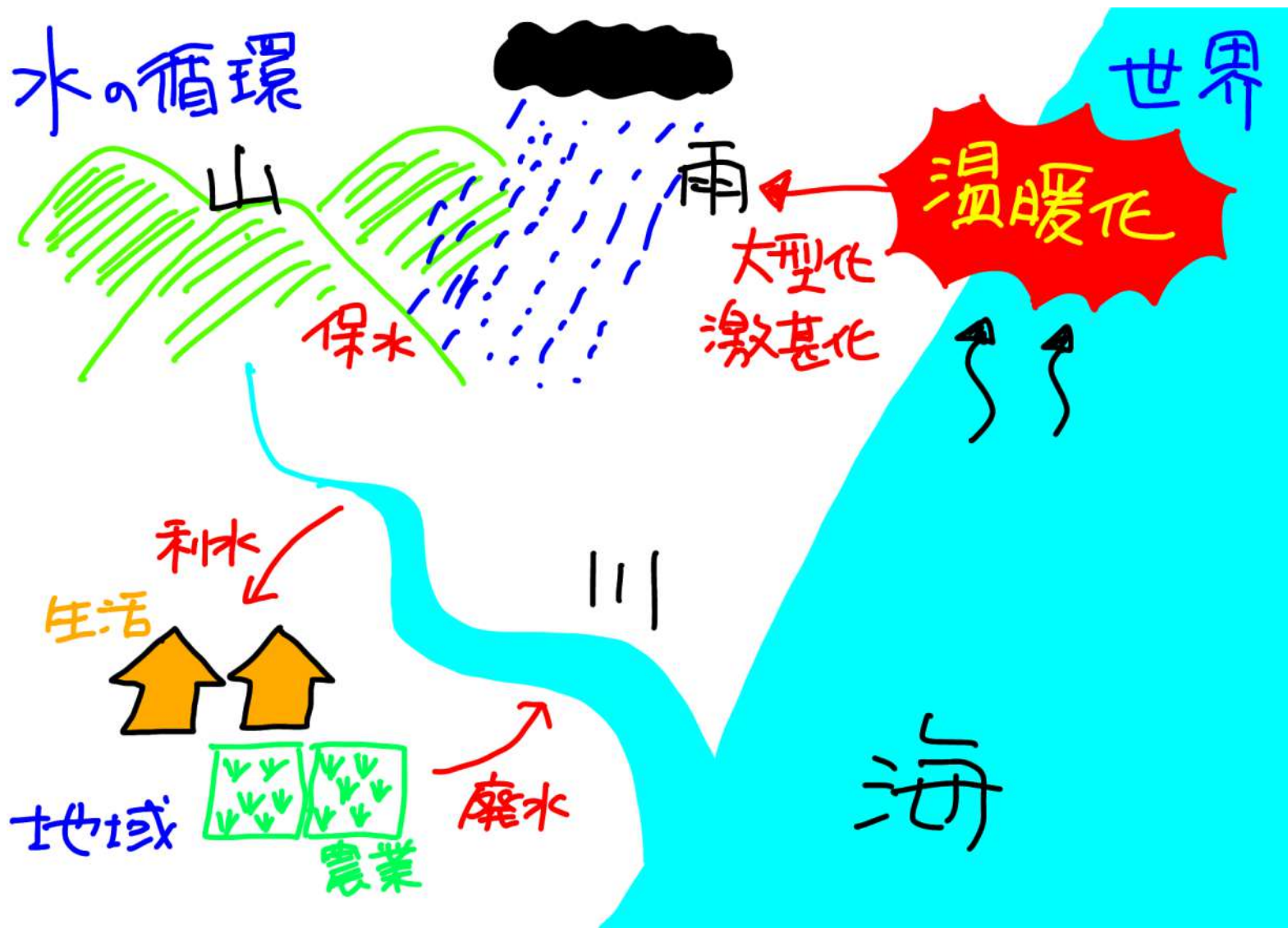
STEP2-5

ペットボトルの水と茶の消費量を可能な限り0%へ
(日常の利用)

2030年 SDGs 達成 静岡県
水を大切にす。

- 1. 水資源を守る
 - ・ 枯渇させない 自然を守る
 - ・ 治水
- 2. 川・海を汚さない
 - ・ 生活排水
 - ・ 洗たく洗剤を適正に
 - ・ 食残しを流さない

水を巡る環境を守り育てる社会



指標の検討

社会変化を捉えるための統計データ

- ・令和元年度公共用水域水質測定結果（令和2年）

安倍川：上流AA→下流AA

藁科川：AA

興津川：上流AA→下流B

巴川：C

- ・全国一級河川の水質現況(2019年)

水質が最も良好な河川2010-2019

安倍川10年間で5回(10,11,13,14,15,16年度)

泳ぎたいと思うきれいな川に選出

指標の検討

行動を促すための統計データ

- ・水を大切に作るアクションが増える
- ・脱プラスチック生活の取り組みが増える
→ #つけた投稿を集計して可視化
- ・清掃活動が活発になる(回数、参加者、情報発信)
→ NPOや企業、地域の取り組みを調査収集
→ Googleフォーム等で情報収集

もっと知ることから始めよう

- ・ 地元静岡の魅力をもっと知ろう
- ・ 一人一人の多様性をもっと知ろう
△□凹凸・・・個性が輝く社会
- ・ 世界の課題についてもっと知ろう

→それぞれイベント・セミナー回数

「川を見にい」

気になるから気にする

気にするから調べる

調べたら人に話したくなる

まずは **お散歩** してみる



地域活性イベントで
交流する・購入して循環

STEP2-1.2.3

自分にできる事、大切にしたい事

静岡の食材を
たべる

まちをあるく

→しずおかを
しる。

地場産食品の利用を

意識的に増やす、新しい
総量ではなくバランス

料理方法にも挑戦!

食材の組み合わせ。

策定で大切にしたこと

- ・参加者の方々が出してくださったキーワードを最も大切に。
- ・個人の身近な取組みで終わらせず、広がりを持たせる。
- ・社会の変化を見るための統計に基づく指標と行動を可視化して促す指標の両面を設定する。
- ・地域内に閉じずに、世界にも目を向けられる要素を入れる。
- ・反省点を明示し、今後も様々な方々の参加で改善していく。

これからの課題

・ 策定した「まあるいしずおか」を多くの人に知ってもらうための広報活動。→**番町市民活動センターで定期イベント**

・ 集計したアクションや活動を見やすく表示するためのWebサイトづくり。→**昨年度作成**

・ 今回意見をうかがえなかった多様なステークホルダーの方々の声を集める。→**未実施**

・ 今後、このプロジェクトを主体的に進めてくださるチームづくり。→**昨年度ステップアップ委員会を隔週開催**